SONY

2-592-485-**03** (2)

Data Projector

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-PX41

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 〜 9 ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5 年に 1 度は、内部の点検を、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

↓

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに交換をご相談ください。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

注意

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

レンズをのぞかない

禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。

風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から30cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない



禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む



指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する



アース線を接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない



禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付けは絶対に自分でやらない



禁止

天井への取り付けは必ずお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下する危険があります。
必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本書、特約店様用設置説明書およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない



禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

アースキャップは幼児の手の届かないところへ保管する



注意

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さいお子様にはご注意ください。

⚠注意　下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置･取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない。

禁止

火災の原因となることがあります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

排気口周辺には触れない

高温

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

注意

約1500時間使用したら、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬するときは必ずハンドルを持つ

指示

- 運搬するときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。
- 床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

長期保管時は不安定な場所に立てておかない

注意

倒れたり落ちたりしてけがの原因になることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

・電池の液が目に入ったら	➡	すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。
・煙が出たら	➡	お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。
・電池の液が皮膚や衣服に付いたら	➡	すぐにきれいな水で洗い流す。
・バッテリー収納部内で液が漏れたら	➡	よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告

破裂　高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

•乾電池は充電しない。
•火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
•指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

破裂

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

•投げつけない。
•使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
•⊕と⊖の向きを正しく入れる。
•電池を入れたまま長期間放置しない。
•新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
•種類の違う電池を混ぜて使わない。
•水や海水につけたり濡らしたりしない。

⚠警告

使用済み乾電池は、取扱説明書または地域のルールに従って処分してください。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
  「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

⚠警告

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

火災　感電

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから１時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行なってください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**テクニカルインフォメーションセンターにランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

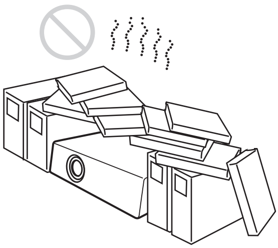
本機または使用済みランプを廃棄する場合
本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

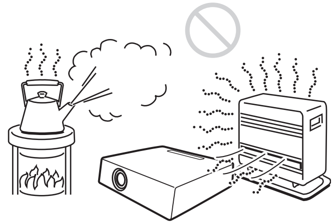
次のような場所には設置しないでください。本機の**故障や破損の原因**となります。

風通しが悪い場所



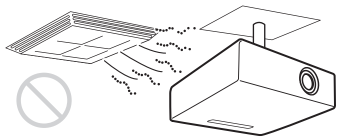
- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後にLAMPオフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から30cm以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所



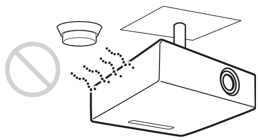
温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所



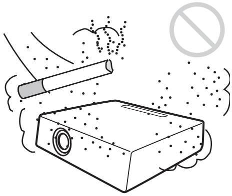
結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば



感知器が誤動作する原因となることがあります。

ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所



ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

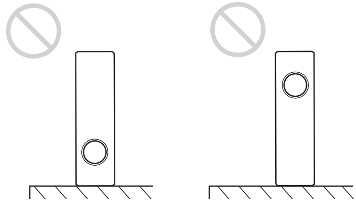
高地で使用する場合

海抜 1500m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの高地モードで設定を「入」にしてください。「切」のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用に適さない状態

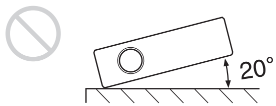
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用する



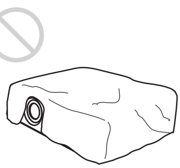
プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾ける



プロジェクターを 20 度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆う



吸排気口をふさぐような覆いやカバーを使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置く

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません**。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

プロジェクターの設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは､寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき､本体の内部に水滴がつくことです｡**結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置**しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- 集光型のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- 必ず定期的にフィルターのクリーニングをしてください。

本機の特長

高輝度・高画質映像

高輝度

ソニー独自の光学システムの採用により高効率な光学システムを実現。
マイクロレンズ付高開口率 LCD パネルと、265W 高圧水銀ランプの採用で 3500 ルーメンの明るい映像を再現できます。

高解像度

約 79 万画素の高精細 0.99 インチの XGA パネルを 3 枚使用し、RGB 入力時には、水平解像度 1024 ドット、垂直解像度 768 ドットを、ビデオ入力時には、水平解像度 750TV 本を実現しました。

優れた設置性

前後に傾けた設置に対応

本機を上方向に 90°、下方向に 90°まで傾けての設置が可能です。ミラーを使用してのリア投影などにも対応できます。

オプションレンズ

短焦点、長焦点の合計 3 種類のレンズ（別売り）を使用することで、様々な設置系に対応できます。

ダイレクトパワーオン / オフ機能

ブレーカーなどで、システム全体の AC 電源を直接入れたり、切ったりすることが可能です。

ネットワークによる状態監視、システム拡張

LAN の環境に取り込むことにより、離れたところから Web 経由で本機のランプの使用時間などの情報の取得や制御が可能です。
また、ランプの交換時期やエラー情報などをあらかじめ設定したアドレスにメールでお知らせするメールレポート機能を持ち、SNMP にも対応しています。

プレゼンテーションに便利な機能

USB 端子を装備

本機をコンピューターと USB 接続するだけで、付属のリモートコマンダーをワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。

様々な入力信号に対応

DVI 端子、5BNC 端子を装備

DVI-D 端子を使用して Digital RGB 機器と接続することができます。さらにワークステーションなどへの高精細信号の接続や長距離伝送にも対応する 5BNC 入力端子を装備しています。

スキャンコンバーターを搭載

スキャンコンバーターを内蔵、入力された信号を 1024 × 768 ドット内にアップ／ダウンコンバートします。

対応入力信号

コンポジット、Sビデオ、コンポーネントのビデオ信号をはじめ、VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+、UXGA (60 Hz) 信号を表示することができます。あらかじめ46種類の入力信号がプリセットされています。

6つのカラー方式に対応

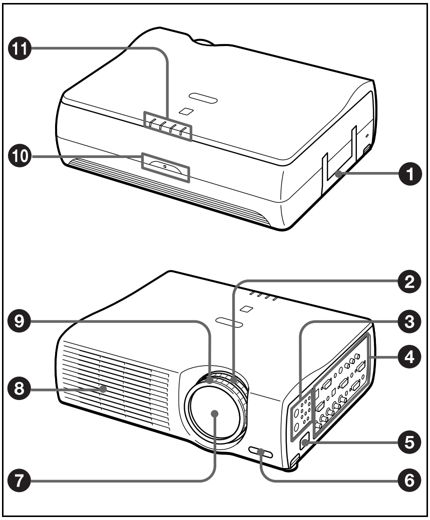
自動切り換えでNTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43[1]、PAL-M、PAL-Nの6つのカラー方式に対応します。

[1] NTSC4.43とは、NTSC方式で録画されたビデオカセットを、NTSC4.43方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。

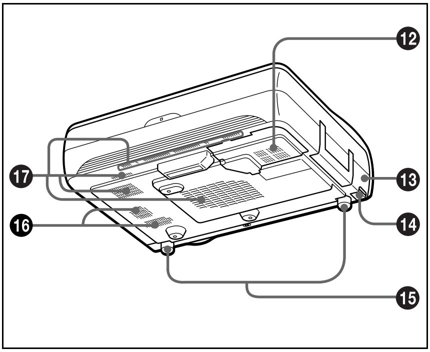
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Kensingtonは Kensington社の登録商標です。
- Macintoshは Apple Computer社の登録商標です。
- VESAは Video Electronics Standard Associationの登録商標です。
- Display Data Channelは Video Electronics Standard Associationの商標です。

各部の名称と働き

前面／左側面



後面／右側面／底面



❶ **ハンドル**

❷ **ズームリング**

画像の大きさ(ズーム)を調整します。

❸ **コントロールパネル**

◆詳しくは、「コントロールパネル」(17ページ)をご覧ください。

❹ **コネクターパネル**

◆詳しくは、「コネクターパネル」(18ページ)をご覧ください。

❺ **AC IN(電源コンセント)**

付属の電源コードを接続します。

❻ **前面リモコン受光部**

❼ **レンズ**

投影する前には、レンズキャップをはずしてください。

❽ **排気口**

❾ **フォーカスリング**

画像のフォーカスを調整します。

❿ **後面リモコン受光部**

⓫ **インジケーター**

LAMP(ランプ)/COVER(カバー):

以下の状態のとき、点灯または点滅します。

点灯:ランプの寿命がきたとき、またはランプの温度が高いとき。

点滅:ランプカバーがはずれているとき、またはエアーフィルターが正しく装着されていないとき。

TEMP(温度)/FAN(ファン):

以下の状態のとき、点灯または点滅します。

点灯:プロジェクター内部の温度が上がったとき。

点滅:ファンが故障したとき。

◆LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケーターについて詳しくは、64ページをご覧ください。

POWER SAVING(節電モード):

節電モード時に点灯します。初期設定メニューの「パワーセービング」を「入」に設定し、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くと節電モードになり、ランプが消え、ファンが回り続けます。節電モードは、信号が入力されたり、キー操作をすると解除されます。ただし、ランプが消えた後、最初の60秒間はすべてのキーを受け付けません。

ON(電源)/STANDBY(スタンバイ):以下の状態のとき、点灯または点滅します。

赤色に点灯:電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I / ⏻ キーで電源を入れることができます。

緑色に点灯:電源が入っているとき。

緑色に点滅:I / ⏻ キーで電源を切った後の約90秒間。(本機内部の温度を下げるために、約90秒間ファンが回り続けます。)はじめの60秒間は、ON/STANDBY インジケーターが早い間隔で点滅します。この間は再び I / ⏻ キー

を押してもランプを点灯させることはできません。

⓬ ランプカバー

⓭ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル（Kensington 社製）などを接続することができます。
Kensington ホームページアドレス：
http://www.kensington.com/

⓮ アジャスター調整ボタン

◆詳しくは、「アジャスターの使いかた」(16 ページ) をご覧ください。

⓯ アジャスター

⓰ スピーカー

⓱ 吸気口／エアーフィルターカバー

排気口／吸気口について

⚠警告

- 排気･吸気口をふさがないでください。**排気･吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因**となることがあります。
- 排気口に手を触れたり、近くに物を置かないでください。**排気口は高温になるので、やけどや火災の原因**となることがあります。

ご注意

本機の性能を保持するために、**約 1500 時間ごとに必ずエアーフィルターのクリーニングを行ってください。**

◆詳しくは、「エアーフィルターをクリーニングする」(59 ページ) をご覧ください。

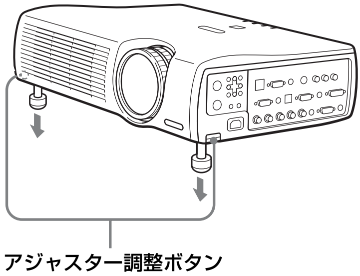
アジャスターの使いかた

高さを調整するには

以下の手順で調整します。

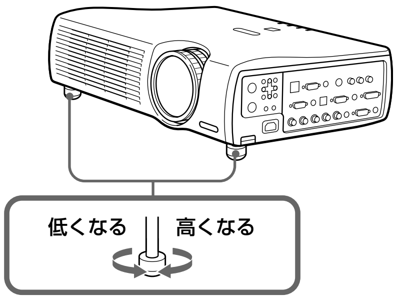
1 プロジェクターを持ち上げ、アジャスター調整ボタンを押す。

アジャスターがプロジェクター本体から出てきます。



2 アジャスター調整ボタンを押しながら、プロジェクターを好みの高さに設定し、ボタンをはなす。

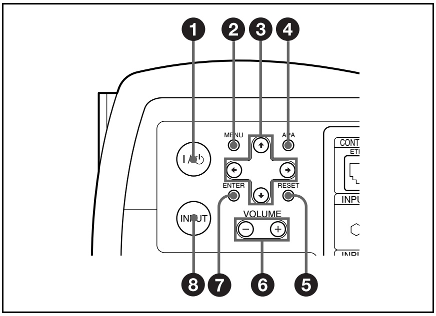
アジャスターがロックされ、高さが固定されます。微調整が必要な場合は、アジャスターを左右に回して調整します。



ご注意

- プロジェクターを調整するときに、手をはさまないようにしてください。
- アジャスターを出した状態で、プロジェクターを上から強くおさえないでください。故障の原因になります。

コントロールパネル



❶ I / ⏻（オン / スタンバイ）キー

本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、ON/STANDBY インジケーターが緑色に点灯します。

電源を切るときは、画面の表示にしたがって、I / ⏻ キーを 2 度押すか、I / ⏻ キーを約 1 秒押したままにしてください。

◆電源を切る手順について詳しくは、「電源を切るには」(35 ページ) をご覧ください。

❷ MENU（メニュー）キー

メニューを画面に表示したいときに押します。もう 1 度押すとメニューは消えます。

❸ ⬆/⬇/⬅/➡（矢印）キー

メニューに表示されるカーソルを動かすときや、項目の数値を変えるときに使います。

❹ APA（Auto Pixel Alignment）キー

コンピューターから信号を入力している際に押すと、くっきり見えるように自動調整します。画面のサイズおよび上下左右のシフト調整も同時に行います。

ご注意

APA キーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。投影している絵柄の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると、正しく APA 機能が働かず、画像の一部が表示されないことがあります。

- 調整中にもう 1 度 APA キーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
- 信号によっては、正しく調整されないことがあります。
- 画質を手動で調整するときは、信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の調整をしてください。

❺ RESET（リセット）キー

調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すときに押します。

メニュー画面、または項目を調整中 (画面に表示中) に働きます。

❻ VOLUME +／–（ボリューム）キー

本体のスピーカーおよび AUDIO 端子から出力される音量を調整するときに使います。

+：音が大きくなります。

–：音が小さくなります。

❼ ENTER（確定）キー

メニューの設定項目を確定するときに押します。

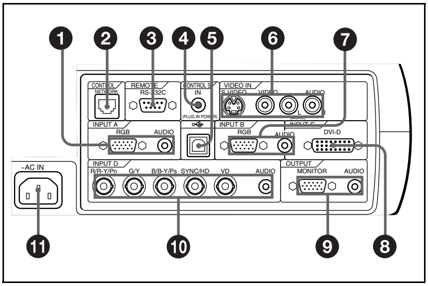
❽ INPUT（入力選択）キー

入力信号を選びます。押すたびに、映像／音声信号が以下のように切り換わります。

→ 入力 A → 入力 B → 入力 C → 入力 D → S ビデオ → ビデオ →（入力 A に戻る）

入力 B と入力 C、ビデオと S ビデオの音声信号は共通です。

コネクターパネル



❶ INPUT A（入力 A）端子

コンピューターの映像／音声を入力します。

HD D-sub 15 ピン端子、メス

コンピューターのモニター出力端子に付属のケーブルで接続します。

AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：

コンピューターの音声出力端子と接続します。

❷ NETWORK 端子（RJ-45）

本機のネットワーク機能を使うとき、LAN ケーブルで接続します。

❸ RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、メス）

コンピューターから本機を操作するときに、コンピューターのコネクターと接続します。

❹ **CONTROL S IN（コントロールS 信号入力）／ PLUG IN POWER（DC 5V）端子（ステレオミニジャック）**

コントロールS 出力端子のあるソニー製品に接続します。付属のリモートコマンダーの CONTROL S OUT 端子と接続すると、ワイヤードコマンダーとして使用することができます。このとき、ステレオケーブルを使用すると電源は本体から供給されるので、電池を入れる必要はありません。

❺ **USB 端子（USB プラグ、アップストリーム用、4 ピン）：**

コンピューターの USB 端子と接続します。

コンピュ－ターと本機を接続すると、コンピューターのマウスを付属のリモートコマンダーから操作できます。

❻ **ビデオ入力端子**

ビデオデッキなどの映像／音声を入力します。

S VIDEO 端子（ミニ DIN4 ピン）：

ビデオデッキなどの S 映像出力端子と接続します。

VIDEO 端子（ピンジャック）：

ビデオデッキなどの映像出力端子と接続します。

AUDIO（音声入力）L（MONO）／ R 端子（ピンジャック）：

ビデオデッキなどの音声を聞くとき、ビデオデッキなどの音声出力端子と接続します。ステレオの場合は、L と R の両方に接続してください。モノラル機器の場合は、L（MONO）のみに接続してください。

❼ **INPUT B（入力 B）端子**

コンピューターの映像 / 音声を入力します。

HD D-sub 15 ピン端子、メス

コンピューターのモニター出力端子に付属のケーブルで接続します。

AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）／ INPUT B、C 共用：

コンピューターの音声出力端子と接続します。

❽ **INPUT C（入力 C）端子／ RGB（DVI）端子（DVI-D）：**

DVI 出力端子（デジタル）を持つコンピューターと DVI ケーブルで接続します。

❾ **OUTPUT（出力）端子**

MONITOR 端子（HD D-sub 15 ピン、メス）：

モニターの入力端子に接続します。INPUT A、INPUT B または INPUT D の RGB 端子に接続された信号のうち、現在選ばれているチャンネルでかつコンピューターのみの信号を出力します。INPUT C 端子に接続された信号は出力されません。

AUDIO（音声出力）端子（ステレオミニジャック）：

アクティブスピーカーに接続します。リモートコマンダーの VOLUME キーまたはコントロールパネルの VOLUME キーで音量を調整できます。

❿ **INPUT D（入力 D）端子／5BNC 入力端子（R/R-Y/PR 端子、G/Y 端子、B/B-Y/PB 端子、SYNC/HD 端子、VD 端子）（BNC 型）：**

プロジェクターを天つりで使用するときなど信号の長距離伝送が必要な場合は、高解像度のコンピューターやビデオなどの映像出力に接続します。

接続する機器に応じて、コンピューター信号、コンポーネント（R-Y/Y/B-Y）信号、HDTV または DTV（DTV GBR、DTV YPBPR）を入力することができます。

AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：

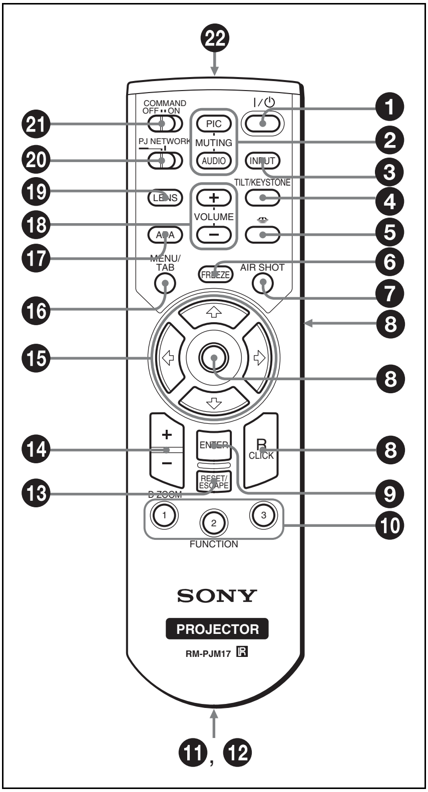
コンピューターの音声出力端子と接続します。

⓫ **AC IN（電源コンセント）**

付属の電源コードを接続します。

リモートコマンダー

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。



❶ **I/ ⏻（オン / スタンバイ）キー**

❷ **MUTING（ミューティング）キー**

映像や音声を一時的に消すときに使います。

PIC（映像）：映像を一時的に消すときに押します。もう一度押すと、解除されます。

AUDIO（音声）：スピーカーから出力される音声と、OUTPUT の

AUDIO 端子の出力を一時的に消すときに押します。もう一度押すか、VOLUME ＋キーを押すと、解除されます。

❸ INPUT（入力選択）キー

❹ TILT/KEYSTONE(台形補正）キー

V キーストーン（垂直台形歪み）を手動で調整するときに使います。

↑/↓/←/→ キーを使って調整します。

❺ （メモリースティック）キー

本機にはこの機能はありません。

❻ FREEZE（フリーズ）キー

投影している画面を静止させます。解除するにはもう一度押します。

❼ AIR SHOT（エアーショット）キー

本機にはこの機能はありません。

❽ コンピューターのマウス操作に関するキー

プロジェクター本体とコンピューターが USB ケーブルで接続されている場合に、コンピューターのマウス機能やマウスボタンとして働きます。

❾ ENTER(確定) キー

❿ FUNCTION 1、2、3（ファンクション 1、2、3）キー

本機では使用しません。

⓫ ストラップホルダー

ストラップを取り付けて使用することができます。

⓬ CONTROL S OUT（コントロール S 端子）出力（ステレオミニジャック）

ワイヤードリモコンとして使う場合に、本体の CONTROL S IN 端子とつなぎます。リモコンケーブル（ステレオタイプ）で接続しているときは、プロジェクターからリモコン用の電源が供給されます。

⓭ RESET（リセット）/ESCAPE（エスケープ）キー

RESET キーとして使います。

メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき、ズームした画像を一度で元の大きさに戻すとき使います。

メニュー画面、または項目を調整中 (画面に表示中) に働きます。

⓮ D ZOOM（デジタルズーム）＋ / －キー

画面上の希望の位置を拡大することができます（デジタルズーム機能）。

⓯ ↑/↓/←/→（矢印）キー

⓰ MENU（メニュー）/TAB（タブ）キー

MENU キーとして使います。

⓱ APA（Auto Pixel Alignment）キー

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。

◆詳しくは、初期設定メニューの「スマート APA」(45 ページ) をご覧ください。

⑱ VOLUME（音量）＋／－キー

⑲ LENS（レンズ）キー

本機にはこの機能はありません。

⑳ PJ/NETWORK（プロジェクター／ネットワーク）切り換えスイッチ

本機では常に PJ（プロジェクター）側でお使いください。

㉑ COMMAND ON/OFF（コマンダー入／切）スイッチ

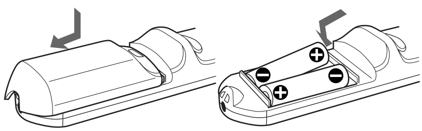
このスイッチを OFF にすると、リモートコマンダーのキーがすべて働かなくなります。使わないときに OFF にしておくと、電池の消耗を防ぐことができます。

㉒ リモートコマンダー発光部

電池の入れかた

1 **ふたをはずし、⊕ と ⊖ の方向を確認して単 3 形 (R6) 乾電池 2 個（付属）を入れる。**

上から押してスライドさせる。　必ず ⊖ 極側から電池を入れてください。



2 **ふたを閉める。**

電池についての安全上のご注意

⚠警告　⚠注意

8 ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

リモートコマンダーが正常に働かなかったら、電池を交換してください。

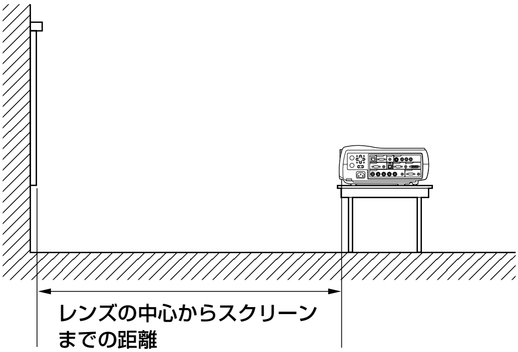
リモートコマンダーのご注意

- リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

設置する

本機の設置方法を説明します。

レンズの中心からスクリーンまでの距離はスクリーンサイズによって変わります。下の表の最小距離と最大距離の範囲で設置してください。



単位：m

スクリーンサイズ（インチ）		40	60	80	100	120	150	200	300
距離	最小	1.5	2.3	3.0	3.8	4.6	5.8	7.7	11.6
	最大	1.9	2.9	3.8	4.8	5.8	7.2	9.7	14.5

ご注意

天つりでご使用になる場合は、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

接続する

接続するときは

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画像の乱れや雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

接続図は次ページ以下をご覧ください。

コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

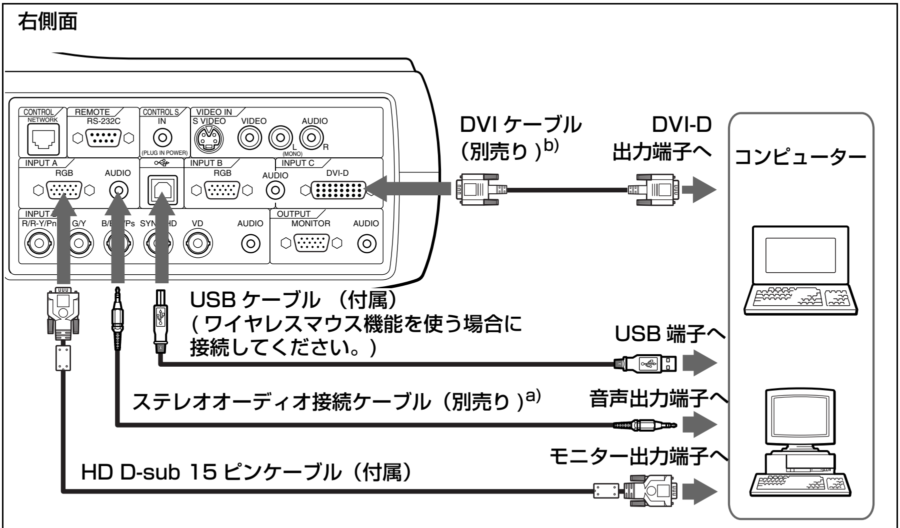
- 本機は、VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+、UXGA (60 Hz) 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号をXGA に設定することをおすすめします。
- ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、プロジェクターから正しい映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

◆詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- 本機は DDC2B (Display Data Channel 2B) に対応しています。お使いのコンピューターが DDC に対応している場合は以下の手順に従って電源を入れてください。
  1. プロジェクターとコンピューターを付属のHD D-sub 15ピンケーブルまたは DVI ケーブルで接続する。
  2. プロジェクターの電源を入れる。
  3. コンピューターを起動する。

コンピューターを接続する場合

ワイヤレスマウス機能を使うとき



a) 抵抗なしのものをお使いください。
b) DVI 対応の機器を接続する場合には DVI ケーブルをお使いください。

USB 機能について

USB ケーブルを使ってプロジェクターとコンピューターを初めて接続すると、以下のデバイスがコンピューターに自動認識されます。
USB ヒューマンインターフェースデバイス（ワイヤレスマウス機能）

推奨動作環境

USB 機能を使用する場合は、上の図のように接続してください。
USB マウス機能は、Windows 98、Windows 98 SE、Windows ME、Windows 2000 および Windows XP を標準搭載したコンピューター上でご使用いただけます。

ご注意

- 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続したままコンピューターを起動させると、正しく起動しない場合があります。その場合は、一度接続を外し、コンピューターを再起動してから、USB ケーブルを接続してください。
- 本機はサスペンド・スタンバイモードを保証していません。サスペンド・スタンバイモードを行うときは、本機を USB ポートから外してください。

・推奨環境のすべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。

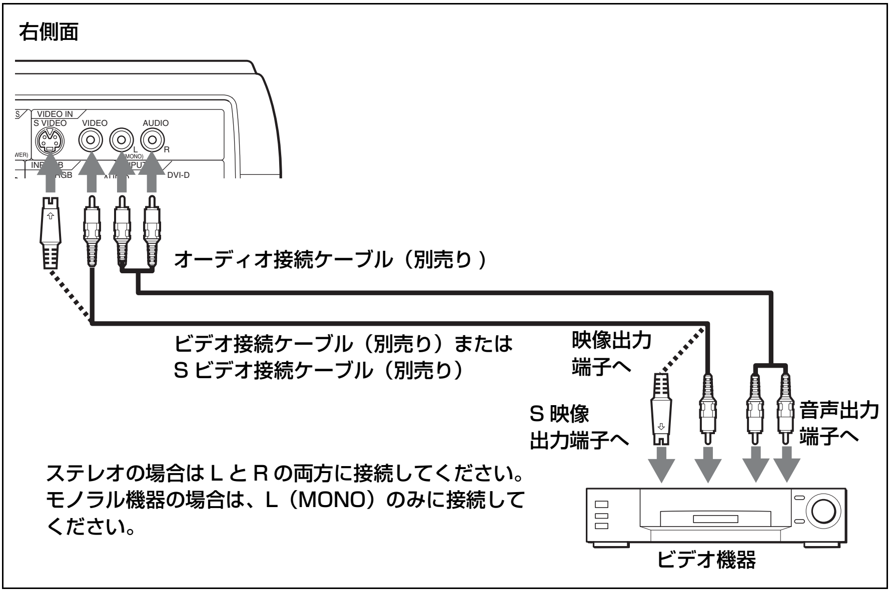
Macintosh を接続する場合

ビデオ出力端子のピン配列が 2 列タイプのものを接続する場合は、市販のアダプターをご使用ください。
また、USB 機能に対応している Macintosh の場合は、USB ケーブルを接続することでワイヤレスマウス機能を使うことができます。

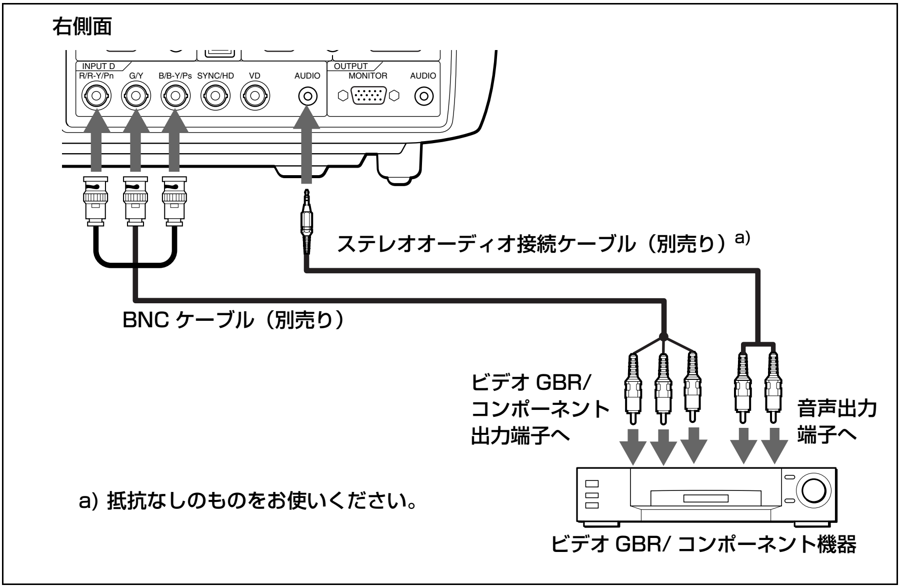
ビデオ機器を接続する

ここではビデオ機器を本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

映像出力、S 映像出力端子に接続する場合



ビデオ GBR/ コンポーネント機器を接続する場合

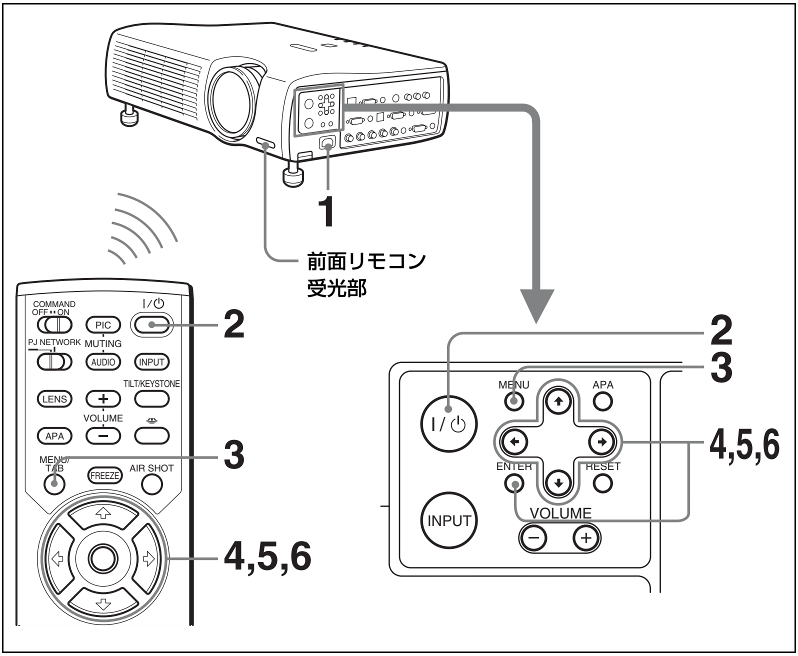


ご注意

・ビデオ GBR の出力端子に接続する場合は初期設定メニューの「入力 D 信号種別」をビデオ GBR に、15k コンポーネント機器を接続する場合はコンポーネントに切り換えてください。
・ビデオ GBR/ コンポーネント信号を外部同期信号で入力する場合は、複合同期信号にしてください。

メニュー表示言語を切り換える

メニュー画面やメッセージの表示言語を 9 言語の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「English」(英語) に設定されています。



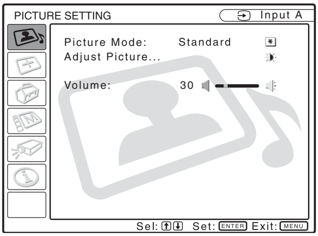
1　電源コードをコンセントに差し込む。

2　I/ ⏻ キーを押して、電源を入れる。

3　MENU キーを押す。

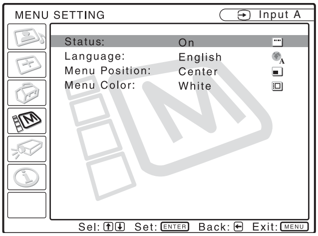
メニュー選択画面が表示されます。

現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。

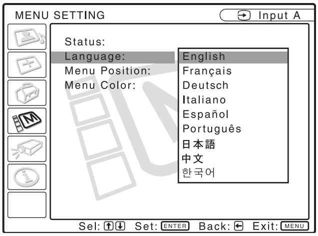


4 **↑ または ↓ キーを押して MENU SETTING （メニュー設定）メニューを選び、➡ または ENTER キーを押す。**

選んだメニューの設定項目が表示されます。



5 **↑ または ↓ キーを押して「Language」（表示言語）を選び、➡ または ENTER キーを押す。**



6 **↑ または ↓ キーを押して表示させたい言語を選び、⬅ または ENTER キーを押す。**

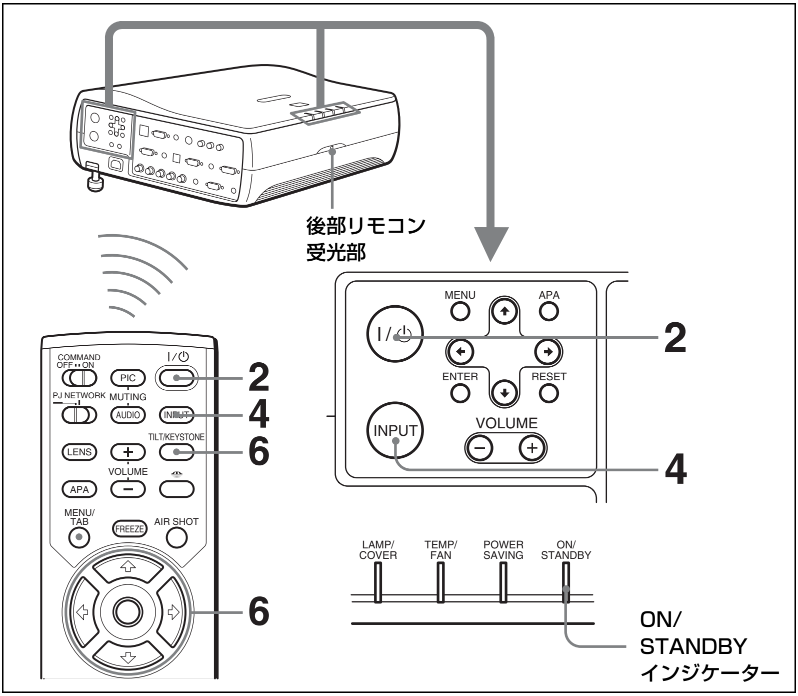
画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENU キーを押す。

約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

スクリーンに画像を映す



1 **電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をする。**

ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

2 **I / ⏻ キーを押して、電源を入れる。**

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点灯します。

3 **接続した機器の電源を入れる。**

4 INPUT キーを押して、投影する機器を選ぶ。

投影する機器	画面の表示
コンピューター（入力 A 端子につないだ機器）	入力 A
コンピューター（入力 B 端子につないだ機器）	入力 B
コンピューター（入力 C 端子（デジタル）につないだ機器）	入力 C
コンピューターなど（入力 D 端子につないだ機器）	入力 D
ビデオ機器（VIDEO 端子につないだ機器）	ビデオ
ビデオ機器（S VIDEO 端子につないだ機器）	S ビデオ

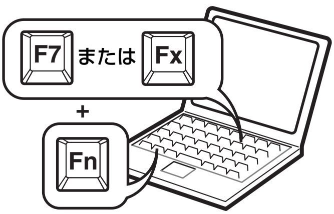
スマート APA（Auto Pixel Alignment）が働き、接続されている機器の画像をくっきりと調整します。

ご注意

- オート入力サーチが「入」に設定されていると、接続されている機器の信号を自動的にサーチし、入力信号のあるチャンネルを表示します。詳しくは、初期設定メニューの「オート入力サーチ」(45 ページ) をご覧ください。
- スマート APA は、コンピューター信号入力時のみ働きます。

5 接続した機器の映像信号の出力先を切り換える。

ノートタイプやモニター一体型のコンピューターを接続したときには、キー (LCD/VGA, ▢/💻 など) や設定によって映像信号の出力先を切り換える必要のあるものがあります。



ご注意

コンピューターの種類によって、切り換えのキーが異なります。

6 画像の垂直台形歪みを調整する。

TILT/KEYSTONE キーを押して V キーストーン調整メニューを表示し、↑/↓/←/→ キーで調整します。

7 ズームリングを動かして、画面のサイズを調整する。

8 フォーカスリングを動かして、フォーカスを調整する。

⚠注意

投影中にレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

音量を調節するには

音量はメニュー画面で調節することができます。42 ページの画質設定メニューの「音量」をご覧ください。

映像を一時的に消すには

リモートコマンダーの PIC MUTING キーを押します。再び映像を出すには、もう一度 PIC MUTING キーを押します。

コンピューターを本機のリモートコマンダーから操作するには

コンピューターを本機に USB 接続すると、本機のリモートコマンダーからコンピューターのマウス機能を操作することができます。
R CLICK キーと L CLICK キー、ジョイスティックは以下のように働きます。

ご注意

リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

キー	機能
R CLICK（前面）	右ボタン
L CLICK（後面）	左ボタン
ジョイスティック	マウスの動きに対応

くっきりとした画像を得るには

コンピューターからの信号を入力しているときは、画質を自動的に調整することができます。

1 コンピューターから静止画像を投影する。

2 APA キーを押す。

調整が終わると、「終了しました」というメッセージが画面に表示されます。

ご注意

・APA キーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。投影している絵柄の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると、正しく APA 機能が働かず、画像の一部が表示されないことがあります。
・入力を切り換えたり、コンピューターを接続し直したときは、もう 1 度 APA キーを押して調整しなおしてください。
・調整中にもう 1 度 APA キーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
・信号によっては、正しく調整されないことがあります。
・画質を手動で調整するときは、信号設定メニューで調整してください。

セキュリティロックをかけるには

本機は、セキュリティロック機能を搭載しています。電源を入れると事前に設定してあるパスワードの入力を要求し、正しいパスワードを入力しないと映像を投影できません。

ご注意

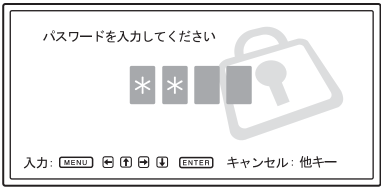
パスワードを忘れてしまったり、パスワード管理者が不在の場合、本機を使用することができなくなります。この機能をご使用の場合はあらかじめ以上のことをご承知のうえお使いください。

1 MENU キーを押して設置設定メニューのセキュリティロックを「入」にする。

2 パスワードを入力する。

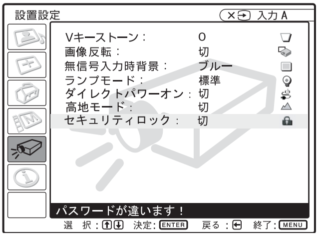
MENU、←/→/↑/↓/、ENTER の 6 つのキーを使用して 4 桁のパスワードを入力してください。
（出荷時には“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されています。）

次に新しいパスワードの入力画面が表示されます。
（現在のパスワードと同じで良い場合でも、ここで入力してください。）
パスワードを入力画面に入れる。



3 確認の為もう一度パスワードを入力する。

「パスワードが違います！」というメッセージがメニュー画面に表示された場合は、手順１からやり直してください。



4 設定完了後に本機の電源を切り、電源コードを抜き設定を有効にする。

セキュリティロックが有効となり、次に電源をいれたときにパスワードの入力画面が表示されます。

セキュリティ認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定されているパスワードを入力してください。パスワードの入力に３回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合、I / ⏻ キーを押し、電源を切ってください。

セキュリティロックを解除するには

1 MENU キーを押して設置設定メニューの「セキュリティロック」を「切」にする。

2 パスワードを入力する。

設定してあるパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れてしまったためテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせをするときは、シリアル番号とお客様の確認が必要になります（国によって異なる）。お客様の確認ができるとパスワードをご案内致します。

電源を切るには

1 I / ⏻ キーを押す。

「パワーオフしますか？」というメッセージが表示されます。

ご注意

確認のメッセージは I /⏻ キー以外のキーを押すか、5 秒間何もキーを押さないと消えます。

2 I / ⏻ キーを再び押す。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが約 90 秒間回り続けます。はじめの 60 秒間は早い間隔で点滅します。この間は再び I / ⏻ キーを押してもランプを点灯させることはできません。

3 ファンが止まり、ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。

画面のメッセージを確認できない場合は

状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順 **1**、**2** の操作のかわりに I / ⏻ キーを約 1 秒押したままにしても電源を切ることができます。

ご注意

ダイレクトパワーオン／オフ機能の内蔵回路により、I / ⏻ キーで電源を切り ON/STANDBY インジケーターが赤色に変わってからも、しばらくの間ファンが稼動していることがあります。

ダイレクトパワーオン／オフ機能

ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合はダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。電源を切る場合は I / ⏻ キーを押さずに電源コードを抜くこともできます。電源コードを抜いても内蔵回路によりファンが一定時間自動的に稼動します。ただし本機の通電時間が約 15 分間よりも短い場合、充電不足のためにファンが回らないこともあります。その場合は「電源を切るには」の手順に従って電源を切ってください。

エアーフィルターについて

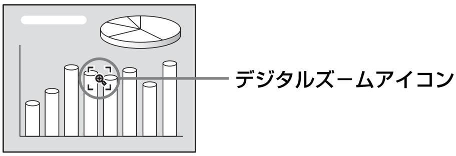
本機の性能を保持するために、**約 1500 時間ごとに必ずエアーフィルターのクリーニングを行ってください。**
またランプ交換の際には、1500 時間経っていなくても、エアフィルターのクリーニングを行うことをお勧めします。

画面を拡大する（デジタルズーム機能）

画面上の希望の位置を拡大できます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。

1 通常の画面を映し、リモートコマンダーの D ZOOM ＋キーを押す。

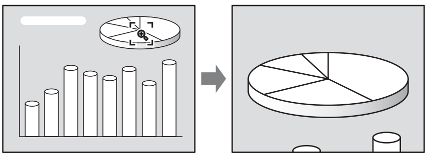
画面中央にデジタルズームのアイコンが表示されます。



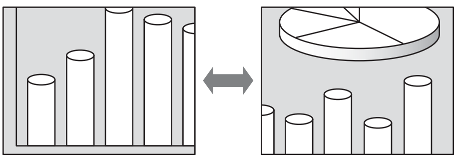
2 ↑/↓/←/→ キーを使って、拡大したい位置にアイコンを移動する。

3 もう一度 D ZOOM ＋キーを押す。

アイコンのある位置を中心に画像が拡大され、拡大率が数秒間画面に表示されます。＋キーを押すごとに拡大率が上がります（最大 4 倍）。



また、この状態で ↑/↓/←/→ キーを押すと、拡大されたまま画像の位置が移動します。



拡大した画像を元の大きさに戻すには

D ZOOM －キーを押します。一度で元の大きさに戻すには RESET キーを押します。

投影している画面を静止させる（フリーズ機能）

リモートコマンダーの FREEZE キーを押すと、投影している画面を静止させて表示することができます。キーが押されると、画面に「フリーズ」と表示されます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。

元の画面に戻すには、FREEZE キーをもう 1 度押します。

メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。選択するメニューによって、設定項目がポップアップメニューに表示されるものと、次の階層に表示されるものがあります。項目名の後にドット (...) が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定項目が表示されます。お好みに応じて、メニュー表示のトーンを変えたり、メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

◆表示言語を変えるには、「メニュー表示言語を切り換える」(28 ページ) をご覧ください。

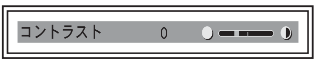
画面に表示される項目について

入力信号表示



入力信号設定表示

画質の調整などを行う調整メニュー



入力信号表示

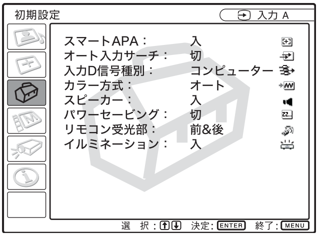
選択されている入力チャンネルを表示します。信号が入力されていないときはx⊡表示になります。メニュー設定メニューの「画面表示」で非表示にすることもできます。

入力信号設定表示

入力 D の場合：コンピューター／コンポーネント／ビデオ GBR のいずれかが表示されます。

1 **MENU キーを押す。**

メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニューボタンが黄色で表示されます。



2 **↑または↓キーを押してメニューを選び、➡ または ENTER キーを押す。**

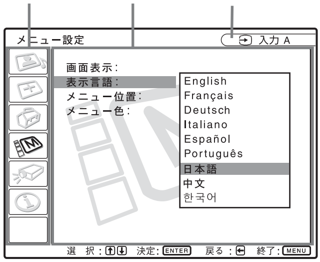
選んだメニューの設定項目が表示されます。

3 **↑または↓キーを押して設定したい項目を選び、➡ または ENTER キーを押す。**

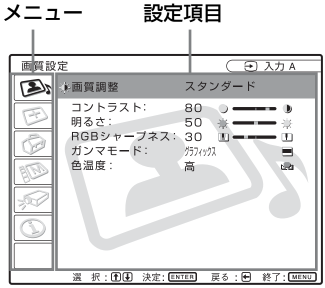
選んだ項目の設定項目がポップアップメニューまたは次の階層に表示されます。

ポップアップメニュー表示画面

メニュー　**設定項目**　**現在の入力信号**



次の階層に表示された画面



4 **設定項目の調整や設定をする。**

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、⬆ または ➡ キーを押す。

数値を小さくするときは、⬇ または ⬅ キーを押す。

ENTER キーを押すと元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：

⬆ または ⬇ キーを押して設定を選び、⬅ または ENTER キーを押す。

元の画面に戻ります。

メニュー画面を消す

MENU キーを押す。

約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

リモートコマンダーの RESET キーを押す。

「終了しました！」というメッセージが表示され、画面に表示中の**設定値が工場出荷時の値に戻ります。**

リセットできる項目は以下のとおりです。

・「画質調整…」の「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」と「RGB シャープネス」

・「入力信号調整…」の「ドットフェーズ」、「水平サイズ」と「シフト」

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

入力信号がない場合

入力信号がない場合は、「この項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。

メニューの表示について

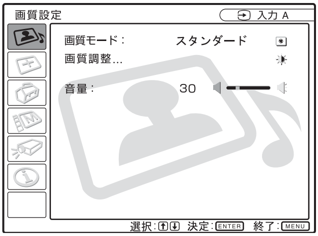
メニューの表示位置、背景色の濃さ、メニューの色をお好みに応じて変えることができます。

◆詳しくは、「メニュー設定メニュー」(46 ページ) をご覧ください。

画質設定メニュー

画質や音量を調整するメニューです。入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

◆調整できない項目について詳しくは、72ページをご覧ください。



メニュー項目

画質モード

画質モードを「ダイナミック」、「スタンダード」の中から選択します。

ダイナミック：明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。

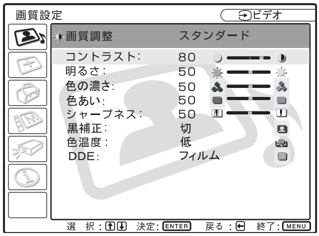
スタンダード：通常はスタンダードに設定されています。また、「ダイナミック」で画質にザラツキ感があるとき、ざらつきを抑えた画質になります。

画質調整 ... メニュー項目

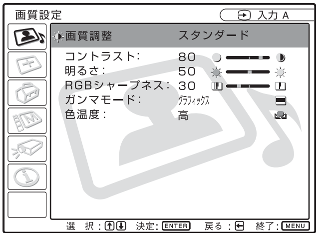
下記の項目は、「画質モード」(「ダイナミック」、「スタンダード」) ごとに設定値が記憶されます。

画質調整

ビデオ信号を入力しているとき



RGB 信号を入力しているとき



コントラスト

コントラストを調整します。設定値が大きくなると画像の明暗の差が大きくなり、小さくなると画像の明暗の差が小さくなります。

明るさ

明るさを調整します。設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなります。

色の濃さ

色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。

色あい

色あいを調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。

シャープネス

シャープネスを調整します。設定値が大きくなると映像がくっきりし、小さくなると映像が柔らかくなります。

RGB シャープネス

RGB 信号の入力時にシャープネスを調整します。
設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。

黒補正

黒補正をすると明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。
映像ソースに合わせて設定してください。

強：強い黒補正
弱：弱い黒補正
切：黒補正なし

ガンマモード

ガンマ補正曲線を選びます。

グラフィックス : 中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。

テキスト : 白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。

色温度

画像に合わせて好みの色温度を選びます。

高 : 画像の白い部分を青みがかった白にします。

低 : 画像の白い部分を赤みがかった白にします。

DDE（ダイナミックディテール・エンハンサー）

入力ビデオ信号を素材に応じて再現する方法を選びます。

切：インターレースのまま変換せずに再生します。

プログレッシブ : インターレースのビデオ画像をプログレッシブに変換して再生します。

フィルム : 映画ソフトなど、2-2、2-3 プルダウン方式の素材をなめらかな動きで再現します。また、2-2、2-3 プルダウン方式以外の素材の場合は、自動的に「プログレッシブ」に切り換えて再生します。

音量

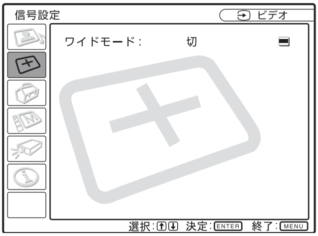
音量を調節します。

信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。
入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

◆調整できない項目について詳しくは、72ページをご覧ください。

ビデオ信号を入力しているとき



RGB 信号を入力しているとき



メニュー項目

ワイドモード

画面のアスペクト（縦横比）を選びます。
DVD プレーヤーなどから 16：9（スクイーズ）信号を入力する場合、「入」に設定してください。

切：4：3 の映像を入力しているときに選びます。

入：16：9（スクイーズ）の映像を入力しているときに選びます。

ご注意

営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイドモード切り換え機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

入力信号調整 ... メニュー項目

ドットフェーズ

LCD パネルとコンピューターから出力される信号の位相を調整します。APA キーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。画像がいちばんくっきりと見える位置に合わせます。

水平サイズ

コンピューターから出力される信号の画像の水平方向の大きさを調整します。設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせてください。

◆プリセット信号に対するサイズについて詳しくは、「プリセット信号一覧」(73 ページ) をご覧ください。

シフト

画像の位置を調整します。
H で水平方向の位置を、V で垂直方向の位置を調整します。
H の設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。
V の設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。
← または → キーで水平方向の位置を、↑または↓キーで垂直方向の位置を設定します。

スキャンコンバーター

入力信号をスキャンコンバートして画面いっぱいに画像を表示します。

入 : 画像を画面の大きさに合わせて表示します。画像は少しぼやけた感じになります。

切 : 入力画素数を LCD の 1 ピクセルに合わせて表示します。画像が鮮明になります。この場合、画面に表示される画像は小さくなります。

ご注意

XGA、SXGA、SXGA+、UXGA 信号を入力した場合、この項目は表示されません。

プリセットメモリーナンバーについて

本機は、あらかじめ 46 種類 の映像データをプリセットしています（プリセットメモリー）。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。入力信号のメモリーナンバーと信号種類は情報メニュー画面 (48 ページ) に表示されます。
プリセットされたデータを信号設定メニューで調整することもできます。
また、プリセットメモリーとは別に、20 個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号に対する設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力された場合は、メモリーナンバー 0 と表示され、信号設定メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が 20 個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。

◆プリセットされている信号について詳しくは、「プリセット信号一覧」(73 ページ) をご覧ください。

下記の信号に対しては、プリセットメモリーからデータが呼び出された後、下の表に従って、「水平サイズ 」を変更してください。
「水平サイズ 」を調整したあと、「シフト 」で微調整してください。

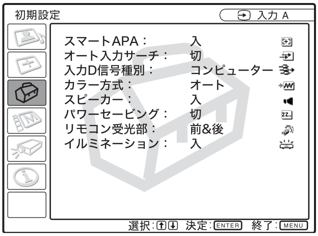
信号	メモリーナンバー	サイズ
Super Mac-2	23	1312
SGI-1	23	1320
Macintosh 19"	25	1328
Macintosh 21"	27	1456
Sony News	36	1708
PC9821 1280 × 1024	36	1600
WS Sunmicro	37	1664

ご注意

アスペクト（縦横比）が 4 : 3 以外の場合、画面の一部が黒で表示されます。

初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。



メニュー項目

スマート APA

APA (Auto Pixel Alignment)[1] の設定を「入」、「切」の中から選択します。

入： 通常は、「入」に設定されています。コンピューター信号が入力されると自動的に APA の機能が働き画像がくっきり見えるように自動調整が始まります。ただし、一度自動調整された信号は、ケーブルを抜き差ししたり、入力切換をした場合でも自動調整されません。「入」に設定されているときでも、リモートコマンダーの APA キーを押して調整することができます。

切： リモートコマンダーの APA キーを押したときのみ調整が始まります。

1)APA (Auto Pixel Alignment) とは、コンピューター信号入力時に、画像をくっきり見えるように自動調整する機能です。信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の 3 つの項目を自動で調整します。

オート入力サーチ

通常は「切」に設定されています。
「入」に設定した場合、電源投入時またはINPUT キーが押されたときに、入力 A ／入力 B ／入力 C ／入力 D ／ビデオ／ S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。

入力 D 信号種別

INPUT D 端子に入力される信号をコンピューター信号、コンポーネント信号とビデオ GBR 信号（15k RGB、DTV、HDTV）から選びます。

カラー方式

カラーシステムを選びます。
「オート」にすると、自動的にカラーシステムを判断します。信号の状態が悪く、画像が乱れたり、色がつかない場合は、入力信号のカラー方式を選択してください。

スピーカー

外部スピーカーなどを接続していて、本体のスピーカーから音を出したくないとき「切」に設定します。「切」にすると、電源を入れたとき「スピーカー：切」というメッセージが画面に表示されます。

パワーセービング（節電モード）

「入」に設定した場合、本体に信号が入力されない状態で 10 分以上何も操作しないと節電モードになります。

リモコン受光部

本体前面と後面のリモコン受光部（IR受光部）の設定をします。

前＆後：前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき。

前：前面のリモコン受光部だけを働かせるとき。

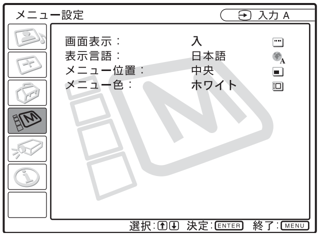
後：後面のリモコン受光部だけを働かせるとき。

イルミネーション

セット上部のSONY ロゴが通電時光っていますが、これを入／切します。
通常は「入」に設定されています。
真っ暗な場所で使用する時など、気になる場合は「切」に設定してください。

メニュー設定メニュー

プロジェクターの表示のしかたを変更するメニューです。



メニュー項目

画面表示

画面表示の設定をします。

入：画面表示をすべて表示します。

切：メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出ないようにします。

表示言語

メニュー画面表示の言語を変えることができます。
「English」(英語)、「Français」(フランス語)、「Deutsch」(ドイツ語)、「Italiano」(イタリア語)、「Español」(スペイン語)、「Português」(ポルトガル語)、「日本語」、「中文」(中国語)、「한국어」(韓国語)から選ぶことができます。

メニュー位置

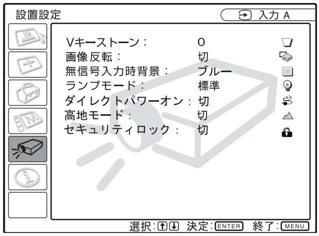
メニューの表示位置を変えることができます。
「左上」、「左下」、「中央」、「右上」、「右下」から選択します。

メニュー色

メニュー表示のトーンを変えることができます。
「ホワイト」、「ブラック」から選択します。

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。



メニュー項目

V キーストーン

投影角度によって画像が台形になってしまった場合にこれを補正します。
画像の上の辺を基準にして、下の辺の方が短いときはプラス方向に、長いときはマイナス方向に数値を設定して、画像が四角形になるように調整します。

画像反転

画像を水平または垂直方向に反転します。
「切」、「上下左右」、「左右」、「上下」の中から選びます。

切：画像は反転しません。

上下左右：画像を水平、垂直方向に反転します。

左右：画像を水平方向に反転します。

上下：画像を垂直方向に反転します。

無信号入力時背景

プロジェクターに信号が入力されていない場合の画面の色を「ブラック」、「ブルー」の中から選択します。
通常は「ブルー」に設定してください。

ランプモード

投影時のランプの明るさを設定します。

高：画面が明るくなります。

標準：投影時のファン音が静かなモードです。消費電力を軽減します。画面は「高」に設定した場合よりも暗くなります。

ダイレクトパワーオン／オフ機能

ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合はダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。電源を切る場合は、I / ⏻ キーを押さずに直接電源コードを抜くこともできます。

高地モード

切：平地でのご使用の場合の設定です。

入：1500m 以上の高地でのご使用の場合の設定です。

セキュリティロック

セットにセキュリティロックをかけます。

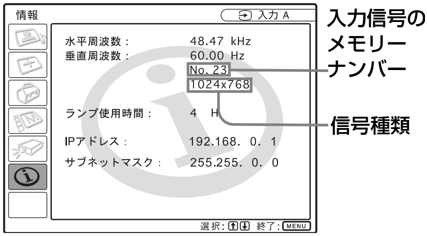
切：「切」の時は動作しません。

入：「入」にし、パスワードを設定するとロックがかかります。

◆詳しくは、「セキュリティロックをかけるには」(33 ページ) をご覧ください。

情報メニュー

投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。



メニュー項目

水平周波数

水平周波数を表示します。
周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。

垂直周波数

垂直周波数を表示します。
周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。

ランプ使用時間

ランプの使用時間を累積して表示します。

IP アドレス

プロジェクターに設定されている IP アドレスを表示します。

サブネットマスク

プロジェクターに設定されているサブネットマスクを表示します。

ご注意

これらの項目は、表示のみです。

コンピューターからアクセスする

コンピューターからプロジェクターの情報を見たり、プロジェクターを遠隔操作できます。また、ランプ交換の時期や、エラー情報などをあらかじめ設定したアドレスに自動的にメールで知らせることができます。

操作の前に

プロジェクターが LAN に接続されていることを確認し、プロジェクターの電源を入れてください。
接続について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 コンピューターのブラウザ（Internet Explorer 5.0 以上）を起動する。

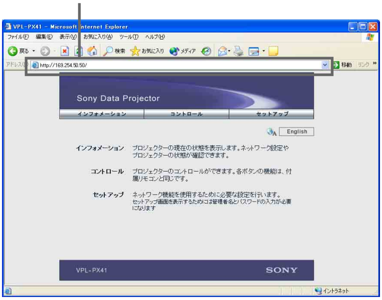
2 ブラウザのアドレスに「http://xxx.xxx.xxx.xxx（プロジェクターの IP アドレス)」と入力し、ENTER キーを押す。

◆プロジェクターの IP アドレスは、「情報メニュー」(48 ページ) で確認することができます。

ご注意

ブラウザからプジェクターにアクセスする場合、プロキシサーバーを使用しないでください。

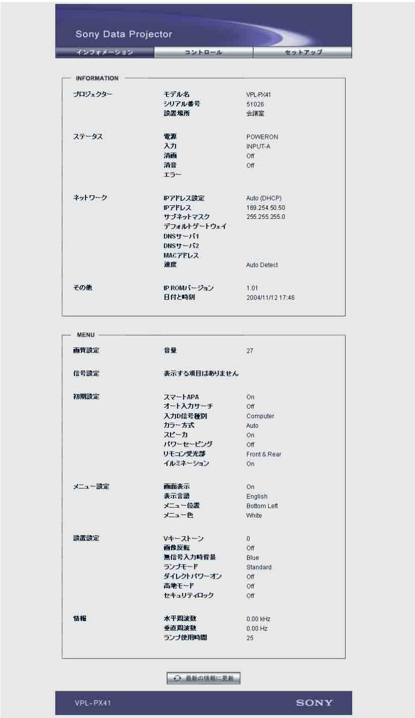
ここに IP アドレスを入力します。



プロジェクターの状態を確認する

「インフォメーション」をクリックする。

プロジェクターの情報や現在の状態などをコンピューター上で確認できます。この画面は確認のみで、設定の変更はできません。



INFORMATION

プロジェクターの現在の情報を表示します。

MENU

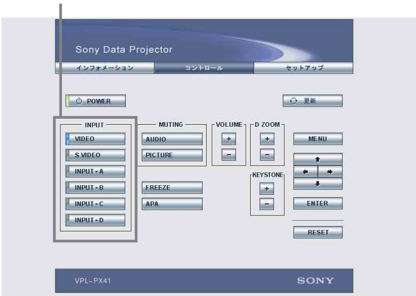
プロジェクターの現在の設定を表示します。

プロジェクターをパソコンから操作する

「コントロール」をクリックする。

コンピューターの画面上でプロジェクターを操作できます。
各ボタンの働きは、本機に附属のリモコンの同名のボタンと同じです。

現在の設定が点灯します



リモコンで設定を変えた場合は、画面右上の「更新」をクリックすると、設定の変更が反映されます。

設定する

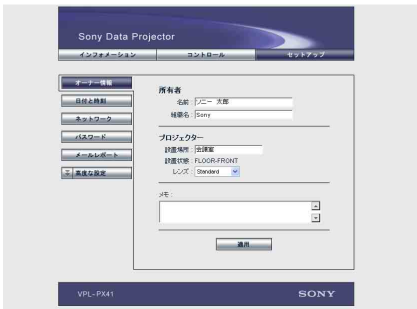
「セットアップ」をクリックする。

ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。お買い上げ時は、「ユーザー名：root」に設定されています。（パスワードは設定されていません。）
所有者情報や日時、メールレポートの設定ができます。各画面で入力した情報、変更した設定などは、各画面下方の「適用」をクリックするとプロジェクターに反映されます。



オーナー情報

ここで設定された情報はメールレポート機能で使用されます。



所有者

所有者の情報を入力します。

プロジェクター

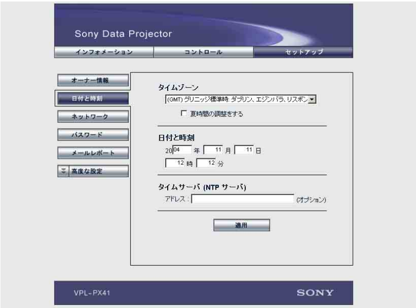
プロジェクターの設置場所、使用しているレンズタイプを入力します。

メモ

メモを入力しておくことができます。

日付と時刻

日時の設定は、メールの自動送信の際に必要です。



タイムゾーン

お住まいの地域を選びます。

日付と時刻

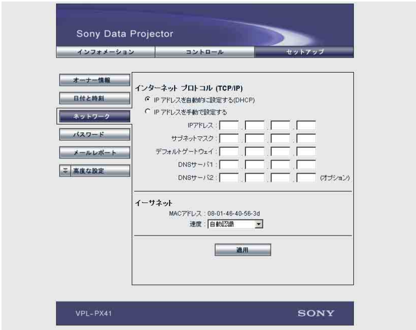
年月日および時刻を入力します。

タイムサーバー

正確な時刻情報を自動取得するためのタイムサーバーのアドレスを入力します。

ネットワーク

ネットワークの設定に必要な情報を入力します。



インターネットプロトコル（TCP/IP）

通常は「IP アドレスを自動的に設定する」（DHCP）に設定します。「IP アドレスを手動で設定する」を選んだ場合は、各数値を入力してください。

イーサネット

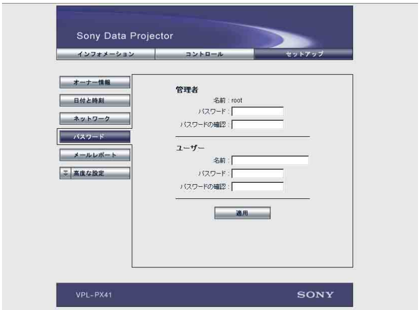
ドロップダウンリストから通信速度および通信モードを選択します。（通常はオートに設定します。）

ご注意

- IP アドレスを変更した場合、古いアドレスでのアクセスはできなくなります。
- 設定を初期設定状態に戻す場合は、プロジェクターの電源が入った状態でコントロールパネルのキーを　RESET、ENTER、⬇、ENTER の順にそれぞれ５秒以内に押し、画面に表示されるメッセージに従ってリセットしてください。

パスワード

管理者、ユーザーそれぞれに名前とパスワードを設定できます。管理者の名前は「root」に固定されています。



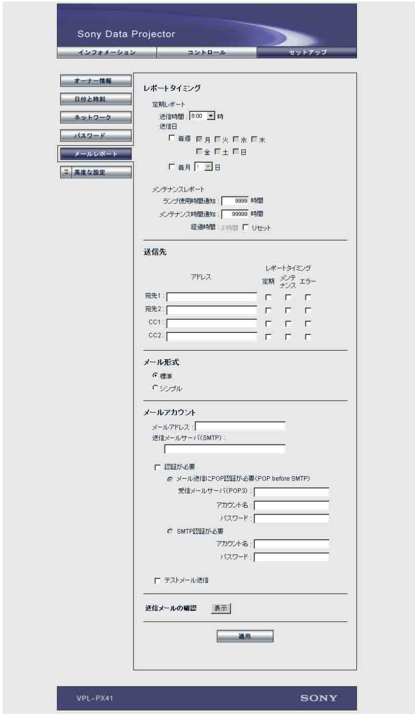
ご注意

- パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れた時は、テクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

メールレポート

メールレポート機能を使って、次のことができます。

- プロジェクターの設置状況やユーザー情報を定期的に通知します。送信日も指定できます（定期レポート）。
- プロジェクターにエラーが発生した場合、直ちにメールで通知します（エラー通知）。
- ランプの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、ランプの交換時期がきたことをメールで通知します（ランプ使用時間通知）。
- プロジェクターの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、メンテナンス時期がきたことをメールで通知します（メンテナンス時間通知）。



レポートタイミング

定期レポート

プロジェクターの現在の状態や設置状態などのレポートが定期的に発行され、メールで送信されます。
下記で送信するタイミングを設定します。

送信時間： レポートを発行する時間を指定します。1時間単位で設定できます。

毎週： このチェックボックスをチェックすると、毎週、指定した曜日にレポートが発行されます。

月／火／水／木／金／土／日：レポートを発行する曜日を指定します。複数の曜日を指定することもできます。

毎月：このチェックボックスをチェックし、ドロップダウンリストから日を選ぶと、毎月決まった日にレポートが発行されます。レポートする内容は、製品情報、ユーザー情報、使用時間、ランプモード、メモなどです。

メンテナンスレポート

ランプ使用時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにランプ交換時期の時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、ランプ交換時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は 1 ～ 9999 時間です。

メンテナンス時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにメンテナンスの時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、メンテナンスの時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は 1 ～ 99999 時間です。
「経過時間」に前回リセットしたときからの経過時間が表示されます。「リセット」のチェックボックスをチェックし、「適用」をクリックすると、経過時間が 0 にリセットされます。

送信先

アドレス

各テキストボックスに送信先のメールアドレスを入力します。同時に 4 箇所に送信できます。各アドレスの最大入力文字数は 64 文字です。

レポートタイミング

定期：定期レポートを送信したいときにチェックします。

メンテナンス：ランプ使用時間、メンテナンス時間を通知したいときはチェックします。

エラー：エラーが発生したときに通知したいときはチェックします。

ご注意

- レポートタイミングで、送信日を指定しても「定期」のチェックボックスがチェックされていないとレポートは発行されません。また、「毎月」の指定日が存在しない月の場合は、月末にレポートを発行します。
- レポートタイミングで、「毎週」または「毎月」のチェックボックスがチェックされていない場合、曜日または日の指定はできません。

メール形式

メール形式を「標準」と「シンプル」から選びます。

メールアカウント

メールアドレス：割り当てられたメールアドレスを入力します。最大入力文字数は 64 文字です。

送信メールサーバー (SMTP)：メールサーバーのアドレスを設定します。最大入力文字数は 64 文字です。

認証が必要：メール送信に認証が必要な場合は、チェックボックスをチェックしてください。

メール送信に POP 認証が必要（POP before SMTP）：SMTP サーバーに接続する前に POP 認証を行う必要がある場合、チェックボックスをチェックしてください。

受信メールサーバー（POP3）：メール受信に使用する POP3 サーバーのアドレスを入力します。

アカウント名：メールアカウントを入力します。

パスワード：メールパスワードを入力します。

SMTP 認証が必要：メール送信時に SMTP 認証が必要な場合には、チェックボックスをチェックしてください。

アカウント名：メールアカウントを入力します。

パスワード：メールパスワードを入力します。

テストメール送信：指定したアドレスにメールが送信されるかどうか、テストメールを送信することができます。チェックボックスをチェックして「適用」をクリックすると送信されます。

ご注意

テストメールは、以下の項目が設定されていない場合、または設定が正しくないと、エラーメッセージが表示され、送信できません。

・送信先のアドレス
・メールアカウントのメールアドレスと送信メールサーバー（SMTP）

メールの設定方法について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

送信メールの確認

送信されるメールの内容を確認します。

高度な設定

「高度な設定」をクリックすると「Advertisement」、「PJ Talk」、「SNMP」のボタンが表示されます。各設定項目は主に管理用のものです。詳しくは、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ご注意

文字列が入力できるボックスに「'」「"」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

ランプを交換する

光源のランプが切れたり、暗くなったり、「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたりしたら新しいランプと交換してください。ランプ寿命はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-P260 をお使いください。

⚠警告

I / ⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因**となることがあります。ランプを充分に冷やすため、**ランプ交換は、プロジェクターの電源を切ってから 1 時間以上**してから行ってください。

⚠注意

・ランプが破損している場合は、最寄のテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げのソニー特約店にご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のハンドルを持って引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
・ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損していた場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

ご注意

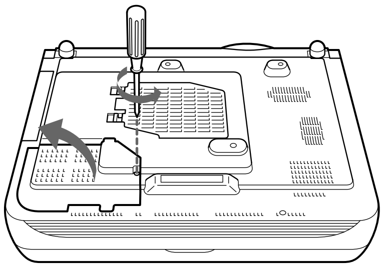
本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

2 プロジェクターや机に傷がつかないよう布などを敷き、その上でプロジェクターを裏返す。

ご注意

プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

3 ランプカバーのネジ（1 本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを開きます。

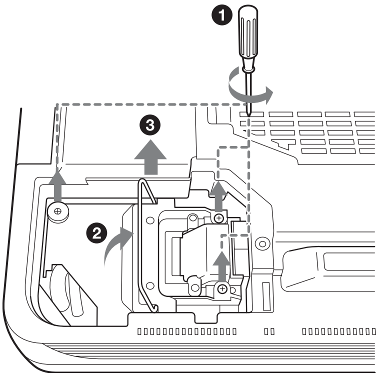


ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

お手入れ

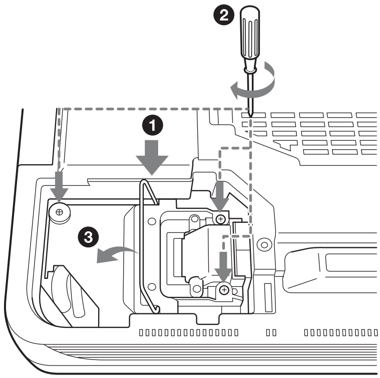
4 **ランプのネジ（3 本）をプラスドライバーでゆるめ、取り出し用ハンドルを持ってランプを引き出す。**



ご注意

ねじはワッシャー付きですが取りはずさず緩めるだけにしてください。

5 **新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジを締め、取り出し用ハンドルを元に戻す。**



ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。

・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 **ランプカバーを閉め、ネジを締める。**

ご注意

ネジをきつく締めすぎないようご注意ください。内部の一部が破損する恐れがあります。

7 **プロジェクターの向きを元にもどす。**

8 **電源コードを接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。**

9 **コントロールパネルのキーを RESET キー、← キー、→ キー、ENTER キーの順に、それぞれ 5 秒以内に押す。**

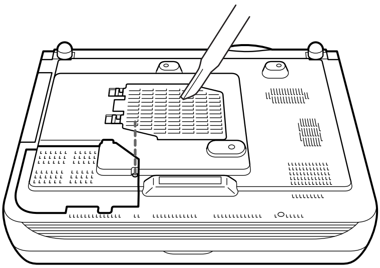
⚠警告

ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。**火災や感電の原因**となります。また、**やけどの危険**がありますので手を入れないでください。

エアーフィルターをクリーニングする

約 1500 時間ごとにエアーフィルターのクリーニングが必要です。吸気口の外側から掃除機で掃除してください。

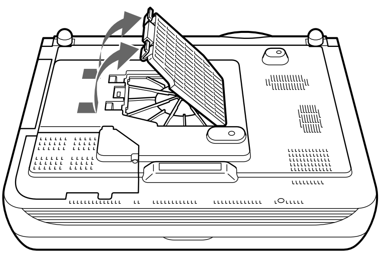
1500 時間は目安です。使用環境や使い方によって異なります。



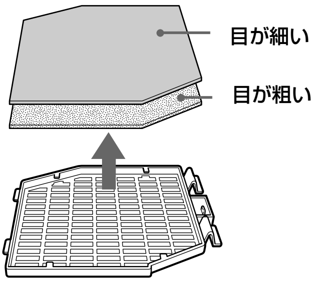
掃除機で掃除しても汚れが取れにくいときは、フィルターをはずし洗ってください。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 エアーフィルターカバーをはずす。

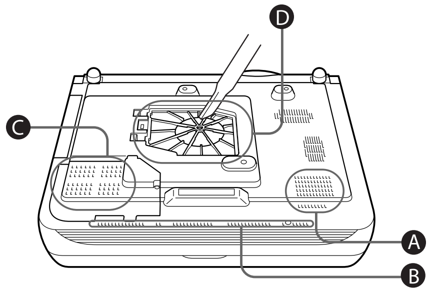


3 エアーフィルターをはずす。

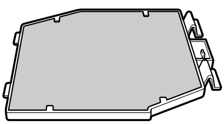


4 中性洗剤を薄めた液で洗ったあと日陰で乾かす。

5 セット底面の開口穴Ⓐ～Ⓓ部も掃除機で掃除する。



6 エアーフィルターをエアーフィルターカバーのツメ 4ヶ所にはめ込み、エアーフィルターカバーをプロジェクターに取り付ける。



ご注意

・エアーフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

・フィルターを洗っても汚れが落ちないときは、付属の交換用エアーフィルターと交換してください。
・エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
・エアーフィルターには表裏があります。フィルターを入れるときは、目の粗い側を外側にして入れてください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう１度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I / ⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔ 約 60 秒たってから電源を入れてください。(35 ページ) ・ランプカバーがはずれている。 ➔ ランプカバーをしっかりとはめてください。(57 ページ) ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。(59 ページ)
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケーターが２つとも点灯している。	・電気系統の故障です。 ➔ お買い上げ店にご相談ください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔ 接続を確認してください。(24 ページ) ・入力切り換えが正しくない。 ➔ INPUT キーで正しく選んでください。(31 ページ) ・映像が消画（ミューティング）される。 ➔ PIC MUTING キーを押して、ミューティングを解除してください。(32 ページ) ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔ 出力信号をコンピューターの外部モニター**のみに**出力するように設定してください。 ➔ ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続したときには、キーや設定によって映像の出力先を切り換える必要があります。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

症状	原因と対処
画面にノイズが出る。	・入力信号のドット数と LCD パネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔ お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。
INPUT D 端子から入力している映像の色がおかしい。	・初期設定メニューの「入力 D 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔ 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 D 信号種別」でコンピューター、ビデオ GBR、コンポーネント信号の設定を正しく合わせてください。(45 ページ)
INPUT D 端子から正しく信号を入力しているのに「入力 D の設定を確認してください。」というメッセージが表示される。	・初期設定メニューの「入力 D 信号種別」が入力信号と合っていない。 ➔ 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 D 信号種別」でコンピューター、ビデオ GBR、コンポーネント信号の設定を正しく合わせてください。(45 ページ)
画面表示が出ない。	・画面表示の設定が「切」になっている。 ➔ 画面表示の設定を「入」にしてください。(46 ページ)
色がおかしい。	・画質の調整をしていない。 ➔ 画質の調整をしてください。(41 ページ) ・入力信号のカラー方式が合っていない。 ➔ 入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。(45 ページ)
画面が暗い。	・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 ➔ 画質設定メニューで正しく設定してください。(41 ページ) ・ランプが消耗している。 ➔ ランプを交換してください。(57 ページ)
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔ フォーカスを合わせてください。(32 ページ) ・結露が生じた。 ➔ 電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。(12 ページ)
画像がスクリーンからはみでている。	・画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔ スクリーンいっぱいに画像を映してから APA キーを押してください。 ➔ 信号設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。(44 ページ)

症状	原因と対処
画面がちらつく。	・信号設定メニューのドットフェーズの設定が合っていない。 ➔ 信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。(43 ページ)

音声に関する項目

症状	原因と対処
音が出ない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔ 接続を確認してください。(24 ページ) ・正しいケーブルで接続されていない。 ➔ 抵抗なしのステレオオーディオ接続ケーブルをお使いください。(25 ページ) ・音量が正しく調整されてない。 ➔ 正しく調整してください。(42 ページ) ・音声がミューティングされている。 ➔ AUDIO MUTING キーを押してミューティングを解除してください。
AUDIO 端子から音声を入力しているとき、片側からしか音が出ない。	・AUDIO 端子にモノラル音声が入力されている。 ➔ ステレオ音声を入力してください。

リモートコマンダーに関する項目

症状	原因と対処
リモートコマンダーが機能しない。	・電池の寿命がきた。 ➔ 新しい電池と交換してください。(22 ページ)
リモートコマンダーで MENU キーを押してもメニュー画面が出ない。	・PJ/NETWORK 切り換えスイッチが NETWORK 側になっている。 ➔ PJ/NETWORK 切り換えスイッチを PJ 側にして、MENU キーを押してください。

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターが点滅する。	・ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ カバーをしっかりはめてください。(57、59 ページ)
LAMP/COVER インジケーターが点灯する。	・ランプの寿命がきた。 ➔ ランプを交換してください。(57 ページ) ・ランプが高温になっている。 ➔ 90 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう 1 度電源を入れてください。(35 ページ) ・電気系統の故障です。 ➔ お買い上げ店にご相談ください。
TEMP/FAN インジケーターが点滅する。	・ファンが故障している。 ➔ お買い上げ店にご相談ください。
TEMP/FAN インジケーターが点灯する。	・内部が高温になっている。 ➔ 排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケーターが2つとも点灯している	・電気系統の故障です。 ➔ お買い上げ店にご相談ください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
セット内部温度が高いです。 1 分後に LAMP オフします。	・内部の温度が高くなった。 ➔ 電源を切ってください。 ➔ 排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。
入力信号の周波数が対応範囲を超えています！	・対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 ➔ 対応範囲内の信号を入力してください。 ・接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。 ➔ 出力信号の設定を XGA にしてください。(24 ページ)

メッセージ	意味と対処
入力Dの設定を確認してください。	・初期設定メニューの「入力D信号種別」が「コンポーネント」に設定されているのに、コンピューターからRGB信号を入力した。 ➔「入力D信号種別」を正しく設定してください。(45ページ)
ランプを交換してください。	・ランプの交換時期がきた。 ➔ ランプを交換してください。

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
入力信号がありません。	・本体に何も入力されていない。 ➔ 接続を確認してください。(24ページ)
無効キーが押されました。	・操作が正しくない。 ➔ 正しいキーを押してください。

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう 1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式　3LCD パネル、1 レンズ、3 原色液晶シャッター投写方式

LCD パネル　0.99 インチマイクロレンズアレイつき TFT SONY LCD パネル
2,359,296 画素（1024 × 768 × 3）

レンズ　約 1.3 倍ズームレンズ（マニュアル）
f 37.6 ～ 48.8 mm/F 1.7 ～ 2.3

ランプ　265 W 高圧水銀ランプ

投影画面サイズ
40 インチ～ 300 インチ

光出力　3500 lm[1)]

1) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

投影距離（床置き）

スクリーンサイズ（インチ）	距離（m）
40	1.5 ～ 1.9
60	2.3 ～ 2.9
80	3.0 ～ 3.8
100	3.8 ～ 4.8
120	4.6 ～ 5.8
150	5.8 ～ 7.2
200	7.7 ～ 9.7
300	11.6 ～ 14.5

電気系

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N 自動切り換え／手動切り換え

解像度　水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）1,024 × 768 ドット（RGB 入力時）

対応コンピューター信号[1)]

fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz

(最高入力解像度信号 : UXGA 1600 × 1200 fH: 75kHz, fV: 60Hz)

1) 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号

15k RGB 50/60Hz, Progressive Component 50/60Hz DTV(480/60I, 575/50I, 1080/60I, 480/60P, 575/50P, 1080/50I, 720/60P, 720/50P, 540/60P) Composite video, Y/C video

スピーカー　ステレオスピーカーシステム 40 × 70 mm、最大 2 W × 2

入出力

ビデオ　VIDEO：ピンジャック

コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）

S VIDEO：Y/C、ミニ DIN4 ピン

Y（輝度）信号 :1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）

C（クロマ）信号 :

バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）（75Ω 終端）

バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）75Ω 終端

AUDIO：ピンジャック× 2

500 mVrms、インピーダンス、47 kΩ 以上

INPUT A（入力 A）：アナログ RGB：HD D-sub 15 ピン（メス）

R：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

同期付 G：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）

B：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

SYNC/HD：複合同期入力：1 ～ 5 Vp-p、ハイインピーダンス、正負極性

水平同期入力：1 ～ 5 Vp-p、ハイインピーダンス：正負極性

VD：垂直同期入力：1 ～ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性

AUDIO：ステレオミニジャック

500 mVrms、インピーダンス、47 kΩ 以上

INPUT B (入力 B)：アナログ RGB：HD D-sub 15 ピン（メス）

R：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

同期付 G：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）

B：0.7 Vp-p ± 2 dB

（75Ω 終端）
SYNC/HD：複合同期入力：1 〜 5 Vp-p、ハイインピーダンス、正負極性
水平同期入力：1 〜 5 Vp-p、ハイインピーダンス、正負極性
VD：垂直同期入力：1 〜 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性
AUDIO：ステレオミニジャック（INPUT B、C 共用）
500 mVrms、インピーダンス、47 kΩ 以上

INPUT C (入力 C)：デジタル RGB：DVI-D（TM-DS）
AUDIO：ステレオミニジャック（INPUT B、C 共用）
500 mVrms、インピーダンス、47 kΩ 以上

INPUT D (入力 D)：アナログ RGB/ コンポーネント：5BNC（メス）
R/R-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
同期付 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
B/B-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
SYNC/HD：複合同期入力：1 〜 5 Vp-p、ハイインピーダンス、正負極性
水平同期入力：1 〜 5 Vp-p、ハイインピーダンス、正負極性
VD：垂直同期入力：1 〜 5 Vp-p、ハイインピーダンス、正負極性
AUDIO：ステレオミニジャック
500 mVrms、インピーダンス、47 kΩ 以上

OUTPUT： MONITOR OUT：HD-D-sub 15 ピン（メス）
R, G, B: Gain Unity：75Ω SYNC/HD
VD：4 Vp-p（オープン）、1 Vp-p（75Ω）
（デジタル RGB からの入力信号は、MONITOR OUT からは出力されませ
AUDIO OUT（出力可変）：ステレオミニジャック 1 Vrms（音量最大）、500 mVrms（出力時インピーダンス 5 kΩ 以下）

USB： アップ（アップストリーム）× 1

REMOTE： RS-232C：D-sub 9 ピン
CONTROL S IN/
PLUG IN POWER：ステレオミニジャック
NETWORK：RJ-45：10BASE-T/100BASE-TX

安全規格 電安法、VCCI クラス B
本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性―第 3-2 部：限度値―高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

一般

外形寸法　420 × 125 × 316 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量　約 7.8 kg

電源　AC100、50/60 Hz

消費電力　最大 365 W
スタンバイモード時 : 6 W (NW 機能動作)

発熱量　1246 BTU

動作温度　0 ℃ ～ + 35 ℃

動作湿度　35 % ～ 85 %（結露しないこと）

保存温度　－ 20 ℃ ～ + 60 ℃

保存湿度　10 % ～ 90 %

付属品　リモートコマンダー（1）
単 3 形乾電池（2）
HD D-sub 15 ピンケーブル（2.0 m）（1）(1-791-992-31 (SONY))
USB ケーブル A タイプ－ B タイプ（1）(1-790-081-31 (SONY))
レンズキャップ (1)
電源コード（1）
交換用エアーフィルター（2 枚 1 組）
取扱説明書、設置説明書（CD-ROM）(1)
簡易説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）

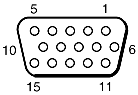
本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

プロジェクターランプ
LMP-P260 (交換用)
プロジェクターサスペンションサポート
PSS-610
モニターケーブル
SMF400（HD D-sub 15 ピン（オス）↔ 5 × BNC（オス））
シグナルインターフェースケーブル
SIC10（5 × BNC（オス）↔ 5 × BNC（オス））
プロジェクションレンズ
長焦点ズームレンズ VPLL-ZM102
F=2.0 ～ 2.6
f=69 ～ 102 mm
マニュアルフォーカス／ズーム
投影画面サイズ
40 ～ 300 インチ
投影距離
100 インチ : 6.8 ～ 10 m
200 インチ : 14 ～ 20 m
300 インチ : 21 ～ 30 m
最大外形寸法
88 × 88 × 198 mm
（幅 ×高さ×奥行き）
質量
1500 g
短焦点固定レンズ VPLL-FM22
（リア投影（打ち込み角 0 ° ）用）
F=2.0
f=18 mm
マニュアルフォーカス
投影画面サイズ
40 ～ 300 インチ
投影距離
100 インチ : 1.8 m
200 インチ : 3.6 m
300 インチ : 5.4 m
最大外形寸法
88 × 88 × 169 mm
（幅 ×高さ×奥行き）
質量
950 g
短焦点ズームレンズ VPLL-ZM32
F=1.7 ～ 2.0
f=29.7 ～ 33.9 mm
マニュアルフォーカス／ズーム
投影画面サイズ
40 ～ 300 インチ
投影距離
100 インチ : 3.0 ～ 3.3 m
200 インチ : 6.1 ～ 6.7 m
300 インチ : 9.2 ～ 10.0 m
最大外形寸法
88 × 88 × 159 mm
（幅 ×高さ×奥行き）
質量
1000 g

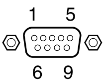
ピン配列

INPUT A、B 端子
RGB 入力端子（HD D-sub 15 ピン、メス）



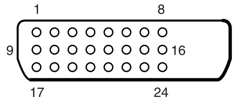
1	映像入力 (赤) R/R-Y	9	N.C
2	映像入力 (緑) G/Y	10	接地
3	映像入力 (青) B/B-Y	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	接地	13	水平同期信号 / 複合同期信号
6	接地 （赤用）	14	垂直同期信号
7	接地 （緑用）	15	DDC/SCL
8	接地 （青用）		

RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、メス）



1	DCD	6	DSR
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	RI
5	GND		

INPUT C 端子
DVI 端子（DVI-D、メス）



1	T.M.D.S. Data2–	14	+5 V Power
2	T.M.D.S. Data2+	15	Ground (return for +5 V, HSync, and VSync)
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield		
4	T.M.D.S. Data4–	16	Hot Plug Detect
5	T.M.D.S. Data4+	17	T.M.D.S. Data0–
6	DDC Clock	18	T.M.D.S. Data0+
7	DDC Data	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
8	Analog Vertical Sync	20	T.M.D.S. Data5–
9	T.M.D.S. Data1–	21	T.M.D.S. Data5+
10	T.M.D.S. Data1+	22	T.M.D.S. Clock Shield
11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	23	T.M.D.S. Clock+
12	T.M.D.S. Data3–	24	T.M.D.S. Clock–
13	T.M.D.S. Data3+		

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。詳しくは、下の表をご覧ください。
調整･設定できない項目はメニューに表示されません。

画質設定メニュー

項目	入力信号			
	ビデオまたは S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター
コントラスト	○	○	○	○
ブライトネス	○	○	○	○
色の濃さ	○（白黒信号を除く）	○	○	×
色あい	○ （NTSC 3.58/4.43 のみ）（白黒信号を除く）	○	○	×
シャープネス	○	○	○	×
RGB シャープネス	×	×	×	○
黒補正	○	○	○	×
ガンマモード	×	×	×	○
色温度設定	○	○	○	○
音量	○	○	○	○
DDE	○	○ （480/60i、575/50i）	○ （480/60i、575/50i）	×

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

信号設定メニュー

項目	入力信号			
	ビデオまたは S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター
ドットフェーズ	×	×	×	○
水平サイズ	×	○ (15 kHz 信号以外)	○ (15 kHz 信号以外)	○
シフト	×	○ (15 kHz 信号以外)	○ (15 kHz 信号以外)	○
スキャンコンバーター	×	×	×	○ (SVGA 以下)
ワイドモード	○	○	○	×

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

プリセット信号一覧

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
1	ビデオ 60 Hz		15.734	59.940	H- 負 V- 負	
2	ビデオ 50 Hz		15.625	50.000	H- 負 V- 負	
3	15k RGB/ コンポーネント 60 Hz		15.734	59.940	S on G/Y または コンポジットシンク	
4	15k RGB/ コンポーネント 50 Hz		15.625	50.000		
5	HDTV		33.750	60.000		
6*	640 × 350	VGA モード 1	31.469	70.086	H- 正 V- 負	800
7*		VGA VESA 85 Hz	37.861	85.080	H- 正 V- 負	832
8*	640 × 400	PC9801 ノーマル	24.823	56.416	H- 負 V- 負	848
9*		VGA モード 2	31.469	70.086	H- 負 V- 正	800
10*		VGA VESA 85 Hz	37.861	85.080	H- 負 V- 正	832
11*	640 × 480	VGA モード 3	31.469	59.940	H- 負 V- 負	800
12*		Macintosh 13"	35.000	66.667	H- 負 V- 負	864
13*		VGA VESA 72 Hz	37.861	72.809	H- 負 V- 負	832
14*		VGA VESA 75 Hz	37.500	75.000	H- 負 V- 負	840
15*		VGA VESA 85 Hz	43.269	85.008	H- 負 V- 負	832
16*	800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35.156	56.250	H- 正 V- 正	1024
17*		SVGA VESA 60 Hz	37.879	60.317	H- 正 V- 正	1056
18*		SVGA VESA 72 Hz	48.077	72.188	H- 正 V- 正	1040
19*		SVGA VESA 75 Hz	46.875	75.000	H- 正 V- 正	1056
20*		SVGA VESA 85 Hz	53.674	85.061	H- 正 V- 正	1048
21*	832 × 624	Macintosh 16"	49.724	74.550	H- 負 V- 負	1152
22*	1024 × 768	XGA VESA 43 Hz	35.524	86.958	H- 正 V- 正	1264
23*		XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	H- 負 V- 負	1344
24*		XGA VESA 70 Hz	56.476	69.955	H- 負 V- 負	1328
25*		XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	H- 正 V- 正	1312
26*		XGA VESA 85 Hz	68.677	84.997	H- 正 V- 正	1376
27*	1152 × 864	SXGA VESA 70 Hz	63.995	70.019	H- 正 V- 正	1472
28		SXGA VESA 75 Hz	67.500	75.000	H- 正 V- 正	1600
29		SXGA VESA 85 Hz	77.487	85.057	H- 正 V- 正	1568
30*	1152 × 900	Sunmicro LO	61.795	65.960	H- 負 V- 負	1504
31		Sunmicro HI	71.713	76.047	コンポジットシンク	1472
32*	1280 × 960	SXGA VESA 60 Hz	60.000	60.000	H- 正 V- 正	1800
33		SXGA VESA 75 Hz	75.000	75.000	H- 正 V- 正	1728

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
34*	1280 × 1024	SXGA VESA 43 Hz	46.433	86.872	H- 正 V- 正	1696
35		SGI-5	53.316	50.062	S on G	1680
36*		SXGA VESA 60 Hz	63.974	60.013	H- 正 V- 正	1696
37		SXGA VESA 75 Hz	79.976	75.025	H- 正 V- 正	1688
38		SXGA VESA 85 Hz	91.146	85.024	H- 正 V- 正	1728
39	1600 × 1200	UXGA VESA 60 Hz	75.000	60.000	H- 正 V- 正	2160
43	480/60P	480/60P（倍速 NTSC）	31.470	60.000	S on G	
44	575/50P	575/50P（倍速 PAL）	31.250	50.000	S on G	
45	1080/50I	1080/50I	28.130	50.000		
47	720/60P	720/60P	45.000	60.000		
48	720/50P	720/50P	37.500	50.000		
50	540/60P	540/60P	33.750	60.000		
52	1400 × 1050	SXGA+	63.981	60.020	H- 負 V- 負	1688

* デジタル入力は * のついた信号に対応しています。No.6 ～ No.39 のうち、* のない信号は自動的にプロジェクターの仕様に合わせて出力されます。

ご注意

- 上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- メモリーナンバー 22 と 34 はインターレース信号です。
- SXGA+ 信号を入力した場合、画像がスクリーンからはみ出してしまうことがあります。その場合、画像のまわりに黒い部分が映っていない信号を入力し、接続しているケーブルの抜き差しをするか、INPUT キーを押して再度入力信号を選んでください。

電源接続時のご注意

本機を国内でご使用の際は付属の電源コードを、国外でご使用の際は以下の表を参照してその国／地域の規格に適合する電源コードをご使用ください。

	アメリカ合衆国、カナダ		ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	—[1]	YP332
コネクタ型名	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
コード型名	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
安全規格	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	電安
コード長さ（最長）	4.5 m		—			

1) プラグに関しては各国 / 地域の規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

その他

索引

ら

わ

製品ご相談窓口のご案内

【プロジェクターの技術相談窓口】

テクニカルインフォメーションセンター

電話番号：	0586-25-6170 （電話のおかけ間違いにご注意ください）
受付時間：	月～金曜日　　午前 9 時～午後 8 時 土、日、祝日　午前 9 時～午後 5 時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。
修理に関するご案内をさせていただきます。

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/